

私のベースとなった本草薬膳学院で学んだこと

2022.07.27

企業

中医薬膳師 通信教育コース 卒業



当学院:簡単な自己紹介をお願いします。

田辺さん:田辺ユミ(たなべ ゆみ)、調理師として飲食業を営む、「微笑亭」というお店で薬膳カフェ・スクールを開いています。

2011年に国際薬膳師の資格を取得し、現在、本草薬膳学院の研究科通信教育コースに在籍しております。



当学院:薬膳を学ぼうと思った動機、きっかけを教えてください。

田辺さん:父のガン闘病を間近にみて現代の医療に対して「ハテナ」の部分が沢山ありました。私も父と似た体質であったため見送ったその後、漢方薬局へ伺ったことが始まりです。

ゆっくりと私の話を聞いて下さってから「身体はひとつですからね。統一して考えていきましょうね。大丈夫ですよ」この一言が「ハテナ」の部分で、ぱあっと目の前が明るくなり腑に落ちた瞬間でした。

漢方薬から始めました。そして、薬を効かすのも、基本は食が身体を作り上げてるという大切なことを知りました。薬膳と養生の面白さにのめり込み、もっと学びたい。そう思いました。



当学院:日本に薬膳を学ぶ学校は増えていますが、中でも本草薬膳学院を選んだ理由、学院ならではの魅力は何ですか。

田辺さん:歳を考えた最後の学びになるなど。それなら一生物を学べるこの学問がピッタリ。

その薬剤師さんが卒業された本草薬膳学院へ入学しました。中医薬膳師コースの通信教育コースで学びましたが、スクーリングでの講義、実習は目からウロコでした。

その日のうちに復習が大事だと仰った学院長のお言葉。実習の先生は濡れないように袖をまくり上げて下さり、さりげないマナーを教えてくださいました。これは今でも心していることです。

現代は板書を写真に取って書かない方、実習では火の前に立たず横から手を出してチョイチョイと調理をする方が多いです。こういったことがその方の性格的な特徴になっています。気は？ どこにあるの？ 簡単に済ませないで頂戴！ 叱ったりもします。私のベースは学院に有りです。感謝しております。



当学院:学習の中で最も印象深かったことはどんなことですか。

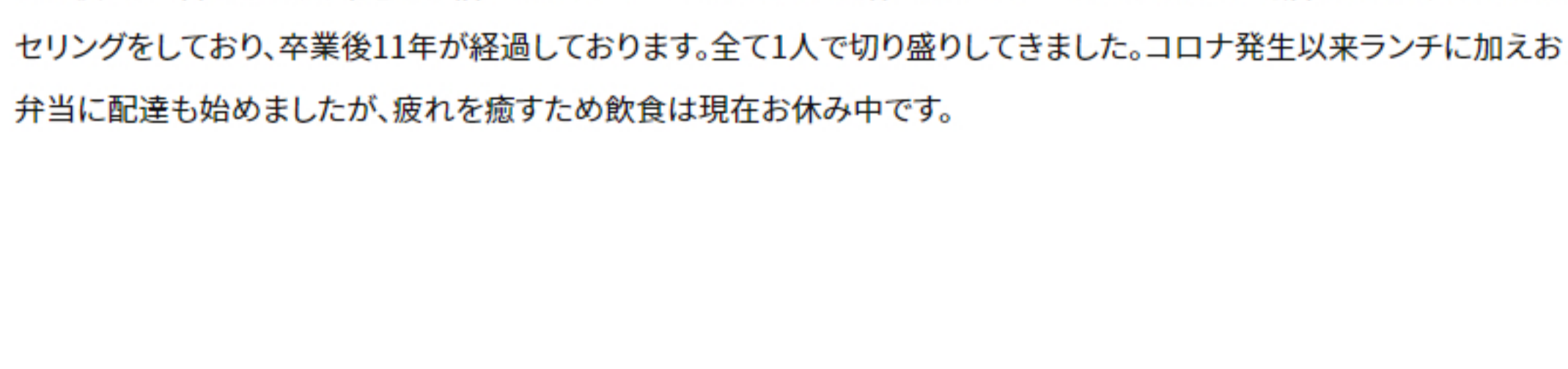
田辺さん:最後の課題である卒業レポートは頭をフル回転しても当時分からないことが多く、大変でした。弁証論治・施膳。この課題提出で大きく成長できたなど今となっては有難い思い出です。先生方には細かいご指導を頂いて心強かったです。本質に沿ったケアは本草だけの特典だと思っています。



当学院:本草薬膳学院で学んだことを現在どのように活かしていますか。また、今後どのような活動をしていきたいですか。

田辺さん:私を薬膳へと導いて下さった漢方薬局の薬剤師さんが先陣を切り、地元の方へ向けた市民講師としてご活躍でしたので、卒業後直ぐ幸運にも座学と実習を合わせた薬膳講座を開かせて頂きました。

その後、知り合いの鍼灸師宅をお借りし、リノベーションをして薬膳カフェをオープン。現在は専門店として講座やカウンセリングをしており、卒業後11年が経過しております。全て1人で切り盛りしてきました。コロナ発生以来ランチに加えお弁当に配達も始めましたが、疲れを癒すため飲食は現在お休み中です。



今後は、起業や作ることに興味のある方に、学びながら対価も得る。作り手とお客様どちらも幸せになれる飲食店として再スタートできるように改装中です。岐阜は日本の真ん中、この真ん中から元気を発信していきます。

『食は人生』

